

## 2014年3月号 会社の雰囲気<sup>77</sup>を1W<sup>77</sup>明るくするコミュレポ

皆さん、こんにちは。私は、コミュニケーションについての気づきを毎月1回、振り返ることにしています。せっかくなので日頃お世話になっている皆さんにもシェアできればと思いこのようなレポートを記述することにしました。ご笑読頂ければ幸いです。

丹羽/佐之

### お金への美学！？

人生、お金の悩まない、恵まれるには、お金を「稼ぐ力」「貯める力」「使う力」が必要だと言います。業界に関わらず、年収2,000万円までは個人の「稼ぐ力」の強さで実現できますが、継続的にそれ以上を超え、お金の悩まない人生…となると、それだけでは難しいようです。一方で、私は、様々な業界で一流の人と会う機会を作っていますが、彼らのように一流でい続けるには、お金を「稼ぐ力」ではなく、「使う方」にあると感じています。いわゆる「生き金、死に金」です。ちなみに私の「使い方」のポリシーは、国際投資家の菅下先生に教わった

自分のために使うお金は「堅実」に、  
他人のために使うお金は「気前よく」。

です。最近そのお金の「使い方」効果を感じ始めています。私自身は、仕事上、歯科業界との関わりが一番多くなるのですが、2013年からは他業界の方々との関わりを意識して行動してきました。なぜなら、予防管理型医院を確立した医院が次に描くビジョンには、見本がないため、他業界のエキスをどんどん取り入れていく必要があるためです。そして、他業界の一流の方々と交流すると、今まで気づかなかったアイデアがどんどん押し寄せます。思った以上にヒントが山のようにあります。

一流の人の背景には一流の人脈があり、情報があります。1つの接点がすぐ線になり、面になるため、お金の「使い方」に“てこの原理”が働きます。一般的には、業績が良く、会社や医院に利益が十分に残るようになると、税理士さんからよく「節税策」を提案されます。例えば「今期中に必要な経費で落ちるものは落としましょう」「生命保険で引退後の蓄えを・・・」というようにです。

しかし、これは全て自分のためでしかありません。40代で特にまだこの先、大きなチャレンジをしていきたい人にとって、本当にこれが価値あることなのでしょうか。セールで、なんとなく買ってしまったジャケット2枚より、定価で買った、本当に気に入ったジャケット1枚のほうが、結果的に費用対効果が高いように、自分以外に「気前よく」投資する方が、長期で楽しい人生を送られると私は考えています。(もちろん、投資する人を選ぶ眼は必要ですが・・・) 所詮、紙幣なんて交換価値がなくなった時点で紙切れ以外、何物でもなくなるはずで。

お金を「使う力」は、長期で「稼ぐ力」につながり、ついでに人生の彩をも享受できることになる気がします。…と言っても、お金の「使い方」思想は簡単に確立できるものでもなく、失敗の連続です。しかし、水泳法をいくら学んでも水に入らなければ泳げないように、使いながら、経験値の学びを蓄積していくしかないと思っています。